

オバマ大統領、環境保護庁の厳格な大気汚染規制案を却下（9月2日）

オバマ大統領は2日、環境保護庁（Environmental Protection Agency : EPA）が起草した、スモッグの原因となる化学物質排出の大幅削減を目指した大気汚染規制案「米国オゾン大気環境基準（Ozone National Ambient Air Quality Standard）」を却下することを決定した。地表オゾンの排出基準を厳格化する同規制案の導入に関し、数十億ドルの経済的負担がかかるほか、数十万人の失業を招くものとして業界グループや共和党議員から批判が上がっていた。大統領は「特に米国経済が回復途上にある中、規制による負担や不確実性を軽減することが重要である」としているが、環境保護団体は同決定を「裏切り行為」として落胆や怒りを顕にしている。

The New York Times, *Obama Administration Abandons Stricter Air-Quality Rules*

<http://www.nytimes.com/2011/09/03/science/earth/03air.html>